

9月議会的一般質問



ふかや花園駅前土地画整理事業造成工事

深谷市の大規模公共事業をいくつも同じ事業者が落札しています。ここ2年に限れば同社が深谷市と契約した公共事業は12件で事業費の合計は約112億5千万円にもなります。原郷上野台線汚水管雨水管切り直し工事が1年間遅れることもあり、深谷市の大型公共事業を7件同時に掛け持つという事態も予想されます。これを一概に問題だというつもりはありませんが、入札の中には一社入札も複数あることから、競争原理が働いているのか、特定の事業者が有利な条件設定がなされていないか等の疑問が生じます。

Q ICT活用工事であることが、ふかや花園駅前土地画整理事業造成工事の必須条件である理由は。
A 工事に対する品質管理や引き渡し期限などの条件を考慮すると、ICT活用は必要不可欠である。
Q 市が業者に対して工期順守と品質管理を徹底すれば、ICT活用を条件とする必要がないのではないか。
A 令和4年3月31日はICT活用を加味した工期である。従来の工法では約7カ月工期が遅れる。
Q この造成工事において特定建設工事共同企業体(JV)の代表構成員となる資格を持つ市内の事業者は、この造成工事を落札したJVの代表構成員のみである。その企業に有利な入札条件となっていないか。
A 代表構成員となる資格を持つ事業者は県内では25社ある。公正な価格競争による適正な入札であると考える。

Q 新庁舎建設工事、原郷上野台線汚水管雨水管切り直し工事、ふかや花園駅前土地画整理事業造成工事等大規模工事を同じ事業者が落札している。市はこれをどう考えるか。
A 公正な価格競争による適正な入札の結果であり全く問題ない。

12月議会的一般質問



防災行政無線 デジタル化工事入札

深谷市防災行政無線のデジタル化整備工事が、最低制限価格7億6404万8000円で平成26年に落札(工事は既に完了)されました。この工事が議案として上がった当時も一般質問で取り上げたのですが、『びたり一致はよくある事』との答弁に当時の私は、追及をあきらめてしまいました。時は移り一昨年8月『最低制限価格+1万円で落札された宮城県大崎市の解体工事は、専門家によると価格漏えいが強く疑われる』というニュースをネットで見ました。私は既存の防災無線の撤去工事が有る上に設計書が73枚にも及ぶ工事が千円単位までびたり一致するのは、情報漏えいの可能性が非常に強いと考え、その真偽を確かめるべく情報公開請求を行いました。手に入れた書類の入札金額見積内訳書には、経費の一部に黒塗りが見積内訳書に記述されたため深谷市情報公開審査会に不服申し立てをしました。その結果、審査会から『免許手数料は総務省がホームページで公開しているため見積内訳書の免許手数料も公開が妥当』との判断があり、金額が公開されました。それを基に行った一般質問の内容が以下の通りです。

Q 私が行った防災行政無線の入札に関する情報公開請求、及びその結果に対する不服申し立てにより、落札事業者の免許手数料が設計書の金額と違う事が判明した。他の数字はともかく、総務省に支払う免許手数料が一致しないのに、合計が一致することだけは有りえない。最低制限価格の情報が漏れたのではないか。
A 情報漏えいが有ったとする客観的証拠は何もない。
Q 落札事業者に積算根拠を説明させるのが税金を預かる市の役割ではないか。
A その必要は無いと考える。

これは例えば『足し算の問題で、加算する数字が間違っているのに答えが当たっている』という現象と同じです。市は以前、私の質問に対し、精密な積算が行われた結果びたり一致したと考えるとの答弁をしました。どうしたらこのような事が起こるのか説明して欲しいところですが、今の条例や取扱要綱ではこれ以上の回答は出来ないとのこと。宮城県大崎市の解体工事の事例がネットニュースになったことから、今までの経緯や一般質問、情報公開請求や不服申し立ての内容を資料にして昨年末に、何人かのメディア関係者と直接話をしました。彼らの話では、『市民オンブズマンが同様のことをやっている事例が有るが、結局のところ状況証拠だけではだれも動かない』そうです。残念ながらこの件も記事にはなりませんでした。こんなことやっても無駄という意見もありますが、おかしいと感じた事にはこれから積極的に関わっていきたくと考えています。

あとがき

新型コロナウイルスが猛威を振るい、多くの人がその影響を受け、生活が脅かされています。こんな状況では市政に興味を持つ人は少ないかもしれませんが、それでも832億にも上る予算が計上され、深谷市の行政は運営されていきます。今私にできることはしっかりとそれをチェックすることです。最近知人から、あまり敵を作ると忠告されました。確かに目に見える成果もなく、敵を作るだけの質問なら止めた方がいいのかもしれません。ミルクおやじの活動を始めて今年で20年。活動を開始した当初から『誹謗中傷』が有りました。一番ひどかったのは初めて市議会議員選挙に立候補した時です。皆さんご存知通りの選挙スタイルなのでそれは仕方ありません。ところが最近になって誹謗中傷の質(理由)が変わって来たと私は感じています。『見た目や活動スタイルが気に入らない』から『議会での発言内容が気に入らない』になったと。私の思い過ごしでなければ、発言にはそれなりの影響力があり議会での質問は無意味ではないうて事の証明になります。いつでも事にしても私は常に自然体でいようと考えています。誰かに付度をして自分の立ち位置や発言内容を変えることはしません。友人や応援者からの依頼でも便宜を図る質問はしません。議会では常に正しいことは正しい、間違っていることは間違っている、間違っていると覚悟を持って発言していきたくと考えています。



ミルクおやじレポート

令和2年度一般会計予算 516億7205万7千円

新型コロナウイルスの影響を受けて埼玉県内でもいくつかの議会が一般会計を中止にしましたが、深谷市議会では予定通りの日程（2月21日、3月17日）で審議が行われました。令和2年度一般会計予算は516億7205万7千円で前年度の当初予算と比べると22億3364万7千円の減額となります。減額の主な要因は、新庁舎建設工事の事業費減額によるものです。

特別会計予算 315億3950万2千円

国民健康保険特別会計、水道事業会計など従来からある6つの特別会計に、新設されたふかや花園駅前土地区画整理事業特別会計（11億9100万4千円）を加えた7つの特別会計の合計は315億3950万2千円となります。一般家計予算と合わせて深谷市の予算総計は832億1155万9千円となります。

ミルクおやじ注目の事業

渋沢栄一政策推進事業

市は渋沢栄一翁に関する施策を総合的に推進するために**渋沢栄一推進部**を新設しました。部長の手腕に注目です。主な事業費は大河ドラマ『晴天を衝け』深谷市推進協議会への負担金で、令和3年1月に深谷公民館1階に大河ドラマ館がオープン予定です。

予算額 億662万1千円

産価値向上事業

①野菜を楽しめる街づくり戦略『ベジタブルテーマパークふかや』

市全体を野菜のテーマパークと見立てて野菜を楽しめる体験プログラムや観光・回遊コースを開発する。

予算額 億650万円

②地域通貨ネギー導入戦略

地域通貨導入へ向けた実証実験を行う。

予算額 2億3935万円

③アグリテック集積戦略

農業に関する人や技術を集めて化学反応を起こし儲かる農業都市ふかやを実現する。

予算額 6348万1千円



3月議会の一般質問

先日環境課でふかやeパワー（ふっかちゃんでんき）が苦戦しているという話を聞きました。何とかしたいと熱心に取り組んでいる市職員に共感し、応援する意味も込めて一般質問で取り上げることになりました。将来ではなく今すぐ地域貢献ができる会社になつて欲しいという思いから多少厳しい質問内容になってしまいました。が、ふかやeパワーの社員が本気で取り組みれば短期間で必ずV字回復すると信じています。

Q ふかやeパワー（ふっかちゃんでんき）の民間事業者、一般家庭を対象にした契約件数は。

A 令和2年1月末現在、民間事業者99件、一般家庭20件で余剰電力の買取は7件となっている。

Q ふっかちゃんでんきに切り替えていない公共施設が約52パーセント有るが理由は何か。

A 理由は二つで契約期間が定められ、契約期間中である場合と非常に安い単価で契約しているため、ふっかちゃんでんきでは同程度の価格で供給することができない場合である。

Q ふっかちゃんでんきの黒字化にはどれくらい契約が必要か。

A 黒字化には約17000キロワットの契約容量が必要だが現在約11000キロワットである。あと約6000キロワットの契約容量が必要である。

Q 黒字化しなければ、ふっかちゃんでんきは、事業収益を地域に還元し地域課題の解決に貢献できないというのでは、より安い単価で電力を提供している民間の事業者には太刀打ちできない。素晴らしい理念が有るのだから、お金を掛けずにできるサービスの提供を今すぐ市民に分かる形で実行するべきではないか。

渋沢栄一翁の精神にも通じる**深谷市に貢献したいという会社**の姿勢は市民に共感を与えるはずだ。



ふっかちゃんでんきと名乗ることから愛される存在になって欲しい。

二つの議案に反対しました

議案第13号（工事請負契約の変更契約の締結）及び議案第14号（工事施行協定の締結）に反対しました。

13号の変更契約は原郷上野台線汚水管・雨水管の切り直し工事の履行期限を1年延長するという内容です。

14号は深谷市が原郷上野台線アンダーパスの工事施行協定（高崎線の線路下の工事権限が深谷市にないため必要となる協定）をJR東日本と締結するという内容です。総額約57億の内25億7201万6千円を必要とする工事です。

私は原郷上野台線アンダーパス工事に反対の立場から、この二つの議案に反対し反対討論を行いました。

反対討論

工事が1年延長になることについては、建設会社に責任がないことは理解しました。私が反対するのは原郷上野台線のアンダーパス工事そのものです。財政が非常に厳しい状況下で一度正式に決まった事だから、一部の地元住民から強い要望があったからという理由で57億円もの巨額の税金をアンダーパス工事に使うべきではありません。優先順位を考え、水道管など老朽化した公共インフラの更新、台風19号で水没した川本中学校の移設など誰もが納得することを使うべきです。

また昨年の台風19号で多くの水没事故を目の当たりにした市民からはアンダーパスはもう一度考え直すべきだとの声も上がっています。このような状況下では原郷上野台線アンダーパス工事は見直すべきです。